

日本ハム（株） 兵庫工場

環境保全対策実施報告書

1. 環境保全対策実施状況（平成20年度）

(1) 大気汚染防止対策

推進の内容	実施の成果
① 日々の運転管理、日常点検と共にボイラー排ガスの定期分析調査、及びメーカーでの定期点検を実施する。	・排ガスの適正管理により、協定値オーバーはありませんでした。 ・蒸気流量計の更新を実施し使用量の管理を強化しました。(写真①)
② ISO14001環境マネジメントシステムの運営により、燃料使用量5%削減目標（対昨年）とする。	・省エネパトロールにて、各職場との連絡を密にし、蒸気漏れ箇所への早期対応を実施すると共に、ボイラー室内配管及びバルブの放熱対応を実施しました。(写真②)



写真① 流量計の更新、一括管理



写真② スチームヘッダーからの配管及び、バルブの放熱対応

(2) 水質汚濁防止対策

推進の内容	実施の成果
① 排水処理施設の運転管理強化、分析装置の定期点検を実施。 自社での日々の分析と、週1回外部検査機関での分析により安定した水質を維持する。	・放流水の水質安定を重点に排水処理を運転管理し、COD汚濁負荷量を対昨年比で7%削減させた。 ・使用水量削減活動を行い、放流水量を対昨年比で15%削減を行いました。 ・COD演算機の更新を実施。
② 排水処理施設の主要機械のPM管理の徹底。	・バッキ用ブロアー室の環境整備及び攪拌ポンプ、ブロアーの更新を実施しました。(写真③、④)



写真③ ブロアー室環境整備



写真④ 攪拌ポンプ更新

(3)騒音、振動防止対策

推進の内容	実施の成果
① 騒音の低減を図る為、敷地内パトロールを毎日実施して日常監視に努める。	・測定地点では、騒音協定値を上回る事はありませんでした。
② 騒音発生装置（ブロアー、ルーフファン、クーリングタワーファン）の定期整備を実施する。	・機器の故障も無く、騒音レベルを低減しました。 ・廃水処理用ブロアー室の改修と、装置の更新を行い音漏れ対策を実施しました。（写真⑤） ・冷凍機用クーリングタワーの更新を実施しました。（写真⑥）



写真⑤ ブロアー更新



写真⑥ クーリングタワー更新

(4) 悪臭防止対策

推進の内容	実施の成果
①廃棄物一時保管場所の維持管理に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 一時保管場所の整理整頓により異臭等の異常はありませんでした。
②場内外の溝の清掃と整備を計画的に実行する。	<ul style="list-style-type: none"> 場内外の溝は、日常監視により異臭等の異常はありませんでした。 廃水溝スクリーンを小部屋に納めました。(写真⑦) 廃水処理施設に、脱臭装置を7月に新規設置し、稼動をいたしました。(写真⑧)



写真⑦ 臭気漏れ対策



写真⑧ 脱臭装置設置

(5) 産業廃棄物対策

推進の内容	実施の成果
① 環境マネジメントシステム（ISO 14001）にて廃プラを燃料資源化しリサイクル率の向上に努める。	・工場廃棄物のリサイクル率100%を達成し、維持しています。

(6) 緑化対策

推進の内容	実施の成果
① 敷地内の樹木の剪定、除草を計画的に外注の専門業者で実施する。	・工場の緑化と美化に貢献しました。

(7) 地域連絡会

推進の内容	実施の成果
① 工場見学会を開催し、地域との交流を深める。	・工場見学会を年2回開催し、23名の参加者に工場を見学していただきました。

(8) その他

推進の内容	実施の成果
① 日本ハムグループ全社の取組である『みんなの森林活動』を積極的に開催し、参加いたします。	・年6回開催し、その内で82名の参加を得て、たつの市大成山の自然保護活動を行いました。（写真⑨）



写真⑨ みんなの森林活動

2. 協定値と実績値の比較

(1) 大気関係

(実績値：最大値または年間総排出量)

項 目		協 定 値	実 績 値
窒素酸化物排出量	(Nm ³ /H)	1.0	0.339
	(t/年)	8.1	1.2

(2) 水質関係

①汚濁負荷量

項 目		協 定 値	実 績 値
COD (kg/日)	通常	35	18.6
	最大	55	46.2
BOD (kg/日)	通常	27	7.4
	最大	43	26.4
S S (kg/日)	通常	57	14
	最大	95	54
ノルマルヘキサン抽出物質 (kg/日)	通常	10	0.9
	最大	16	1.8

② 許容限度

項	目	協 定 値	実績値
P H	最小～最大	5.8～8.6	6.1～7.9
C O D (mg/リットル)	日間平均	30	19.8
	最 大	60	33.3
B O D (mg/リットル)	日間平均	25	7.9
	最 大	50	19
S S (mg/リットル)	日間平均	70	15
	最 大	90	39
ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/リットル)	日間平均	10	1.1
	最 大	14	1.3

3. 環境保全活動

(1) 平成21年度基本方針

項目	内容
基本方針	環境保全の確保は企業の存続基盤であるとの認識に基づき、設備環境保全課を事務局とし、全従業員あげて環境負荷の低減に万全の配慮を払った事業活動を営むと共に維持向上に最善を尽くします。
組織体制	<pre> graph TD A[工場長] --- B[環境管理責任] C[ISO事務局] --- B B --- D[管理職会議] B --- E[推進責任者] B --- F[] B --- G[] B --- H[] B --- I[] E --- J["(製造部門・間接部門各部署)"] F --- J G --- J H --- J I --- J </pre> <p>(製造部門・間接部門各部署)</p>

(2) 平成21年度環境保全活動計画

環境保全活動	目標	目標達成のための計画、方策
自動車公害対策	<ul style="list-style-type: none"> 工場関係車両へのアイドリングストップ運動を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 自家用車両、従業員通勤時使用車両、会社敷地内への乗り入れ車両への働きかけを実施する。
化学物質対策	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質漏洩の未然防止に努めます 	<ul style="list-style-type: none"> 在庫管理の徹底、保管状態の確認を実施する。 PCBの保管状態の確認と、計画的な処分を実施する。
エネルギー対策 (地球温暖化防止対策)	<ul style="list-style-type: none"> ISO14001環境マネジメントシステムの運営により、社内目標値に沿った省エネ活動に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 工場の運営状況を随時発信し、各推進責任者への教育の強化、一般従業員への情報の発信を行い、継続的な運営を行う。
廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> ISO14001環境マネジメントシステムの運営により、場内からの排出物を減少させます。 	<ul style="list-style-type: none"> 各推進部署にて動物性残渣の削減に重点的に取り組みを行います。 廃油、ハイプラ等の再利用を推進し、リサイクル率100%を継続します。
不法投棄防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物回収委託業者への働きかけを実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> 処分先へ出向き、現地確認を行う。 契約書、マニフェストの徹底管理を実施する。
緑化対策	<ul style="list-style-type: none"> 緑地、樹木の維持管理を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 外注業者による除目の剪定、芝地の除草を計画的に実施する。
グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> グリーン購入比率を高めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務用品等にてグリーン購入を推進する。
環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> ISO14001環境マネジメントシステムの運営を継続していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 工場の運営状況を随時発信し、各推進責任者への教育の強化、一般従業員への情報の発信を行い、継続的な運営を行う。

環境保全活動	目標	目標達成のための計画、方策
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員教育の場を広げます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本社、社会環境室より情報と、工場内でのISO活動の推進状況を従業員へ発信する場を広げます。 ・国家資格保有者の育成を推進します。 公害防止管理者 水質1名 公害防止管理者 大気1名 第3種電気主任技術者 1名
地域社会への参画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域各連絡会への参加を行います。 ・環境保全活動を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の各連絡会に積極的に参加する。 ・日本ハムグループとして森林資源保護活動の為「みんなの森林活動」を推進する。 ・工場見学会や工場周辺の清掃ボランティア作業を積極的に実施する。
環境コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・透明性のある工場運営を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本社、社会環境室より日本ハムグループ全体での環境への取り組み情報の発信を実施する。

騒音測定地点

日〇ハム(株) 兵庫工場

